

科学基礎論学会 2017年度 秋の研究例会プログラム

日 付:2017年10月21日(土)

会 場:日本大学文理学部

参加費:無料(非会員:1,000円)

A会場(3号館5階 3503教室)

B会場(3号館5階 3504教室)

【A会場】

- 10:00~12:00 「人工知能の哲学」
オーガナイザ 信原 幸弘(東京大学大学院総合文化研究科)
(東京大学大学院総合文化研究科修士課程)
- 1 山崎 かれん
「人工知能における「自律性」とは何か」
- 2 信原 幸弘 (東京大学大学院総合文化研究科)
「人工知能は精神疾患に罹りうるか」
- 3 小口 峰樹 (玉川大学脳科学研究所)
「人工知能と生物知能——深層学習から神経科学への寄与」

12:00~12:15 科学基礎論学会奨励賞発表及び授賞式 【A会場】

12:15~13:30 昼休み、企画広報委員会(3502教室)

【A会場】

- 13:30~15:30 「Is Intuition Important for Philosophy?」 ※英語使用
オーガナイザ 鈴木 貴之(東京大学大学院総合文化研究科)
- 1 Max Deutsch (The University of Hong Kong)
「Philosophy Does Not Rely on Intuitions」
- 2 Jennifer Nado (The University of Hong Kong)
「Philosophy Sometimes Relies on Intuitions」
- コメンテーター 笠木 雅史(名古屋大学)

【B会場】

- 13:30~15:30 「生命科学および認知科学における量子論的アプローチ」
オーガナイザ 菊池 誠(神戸大学)
- 1 田中 成典 (神戸大学)
「量子生命科学の展望」
- 2 山田 真希子 (放射線医学総合研究所・量子科学技術研究開発機構)
「量子論的認知システムから見た心の生成原理解明へのアプローチ」
- 3 丸山 善宏 (京都大学)
「Quantum Pancomputationalism for Life and Cognitive Sciences」

【A会場】

- 15:45~17:45 「様相の証明論と意味論の最前線：形而上学への接続再考」
オーガナイザ 岡本 賢吾(首都大学東京)
- 1 山崎 紗紀子 (首都大学東京)
「命題とは何か—様相同伴の証明論的分析から—」
- 2 遠藤 進平 (University of Amsterdam)
TBA
- 3 岡本 賢吾 (首都大学東京)
「結局、様相とは？——論理・形而上学・哲学史の界面で」

【B会場】

- 15:45~17:45 「源河亨著『知覚と判断の境界線：「知覚の哲学」基本と応用』合評会」
オーガナイザ 山田 圭一(千葉大学)
- 1 源河 亨 (日本学術振興会)
「著書概要」
- 2 山田 圭一 (千葉大学)
「ゲシュタルト的まとまりは認識論的な役割を果たしているのか」
- 3 染谷 昌義 (高千穂大学)
「ネオ・ゲシュタルティズム(高次モード知覚説)に託された希望—知覚の哲学の行く末を見すえて」
- 4 飯島 和樹 (玉川大学)
「神経科学は知覚と判断の境界について何を言うか」

科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F 笹氣出版印刷株式会社内

TEL: 03-3455-4439

URL: <http://phsc.jp/>

E-mail: kisoron@sasappa.co.jp